

■グループ別検討のための課題事例(「第4次総合計画」市民懇談会コメントシートに関連して)

行政職員が感じる課題の例示

政策	基本施策	施策番号	施策名称	担当	良くなったと思うこと	課題だと思うこと	今後必要な取り組み
市民参画のしくみづくり	市民自治を育むしくみづくり	0122	地域を担う組織や人材育成	1	・地域の安全・安心を自治会(町会)が担っている。(例:地域の一斉清掃、防犯灯の設置・管理、自主防災組織など様々な活動)	・自治会加入率が年々低下しているが、強制加入は現実的でない。 ・自治会が崩壊すると安全・安心が脅かされる。	・家族の機能が低下している。身近な地域での支えあいが、今後益々必要になる。 ・自治会のあり方そのものを、改めて考えてみる必要があるのではないか。 ・時代変化の中で、自治会活動も変わっていかないといけないこともあるのではないかな。
総合的な地域コミュニティケアの充実	福祉サービスの充実	1124	社会参加と生きがいづくりの促進	2	・活き活きとしたシニア世代が増えてきている。	・リタイア層に地域活動に関わっていただくことが必要。	・リタイア層が地域活動に入っていき「きっかけ」づくりの具体策について考えることが必要。 ・シニア世代に活躍していただくことは「元気な八尾」のひとつになると思われる。
総合交通体系の形成と道路の整備推進	総合交通体系の形成	5311	公共交通の充実	3		・放置自転車がが多い。バリアフリーの観点からも課題が多い。 ・撤去した自転車の返還率が低下。自転車が使い捨て状態になっている。	・「取り締まる」「規制する」という方法だけでは解決しないと思う。最も身近で手軽な乗物なので何か方策を考える必要がある。 ・高齢になると、自動車や自転車を使って自分で移動することが難しくなる。閉じこもりや孤立の防止のためにも、交通対策を考えることが必要。
		5312	自転車利用の適正化	3			
まちづくりの共通意識の向上	時代の変化に対応した新たな共通意識	0261	次代を担う世代の育成	4	・保育所定員の拡充、つどいの広場、子育て総合支援ネットワークセンターなど、子ども・子育て支援の取り組みを充実してきた。	・八尾市は依然として少子化傾向にある。 ・子どもへの虐待など子どもの人権が脅かされる例がある。	・「生む」「育てる」側の視点だけでなく、子ども自身の視点や対策が必要ではないか。 ・子どもたちがのびのびと逞しく育つ環境づくりが必要(家族以外の大人と関わる機会、異年齢の子どもと遊ぶ機会) ・親と子どもを支える仕組みが益々重要となる。関係機関や地域のサポートが重要。